

7 保健体育

(1) 第1学年

① 分析と生徒の状況

ア 分析

1年生の学習状況について、定期考査や授業評価アンケート等から以下の特徴が見られた。

- ・ 集合時間を守り、ランニングやラジオ体操など、集団行動に真剣に取り組もうとしている。
- ・ 仲間と競い合ったり、記録に挑戦しようとしたりする生徒が多く、取り組みに積極的な生徒も多い。

イ 学力や体力の状況

上記を踏まえ、1年生の学力や体力について、以下のような傾向が見られた。

- ・ 授業に真面目に取り組む生徒が多いが、運動に対して失敗を恐れたり、自信がなかったりする生徒が少数いる。
- ・ 定期考査の結果から、授業内容の理解する方法を確立するために丁寧な指導が必要である生徒が多い。

② 本校の課題

ア 学習面（生徒の課題）

- ・ 話をよく聞いて、自分なりに動きの工夫をしながらチャレンジする。
- ・ 知識を活用し、技能のポイントを意識して取り組む。

イ 指導面（教師の課題）

- ・ 活動内容や技能のポイントを理解できているか様々な生徒に発言させ、確認しながら説明する。
- ・ 活動中も生徒の実態に合わせてながら、技能のポイントについて声掛けをする。新たな課題があれば、全体で共有する。
- ・ 補強運動で鉄棒を行ったり、ボールをつかんだりする運動を取り入れ、握力が向上するように取り組ませる。
- ・ 板書は、どの生徒でも自分のペースで書くことができるようにする。

③ 授業改善案

ア 言語活動の取組

- ・ 説明で発問や質問を取り入れる。
- ・ ワークシートに自分の課題と改善策を記入させる。
- ・ 友達にアドバイスをする。

イ 特別支援教育の視点を取り入れた授業への取組

- ・ 流れや技能のポイントを視覚的に捉えられるようにする。

ウ 家庭学習の定着

- ・ 自分の課題に対する改善策を振り返り、成功したときの動きのイメージをしてくる。
- ・ 毎日、ストレッチや筋肉トレーニングを行う。

エ その他（ICT機器の活用等を含む）

- ・ 保健分野や体育理論の学習でデータなどを取り入れ、説明を分かりやすくしたり、全体で共有したりできるようにする。
- ・ 技能の動きの手本を映像で見せて、イメージしやすくする。
- ・ 生徒個人の動きやチームの動きを撮影し、振り返る時間を設定することで、課題や改善策を見付けられるようにする。

(2) 第2学年

① 分析と生徒の状況

ア 分析

2年生の学習状況について、定期考査や実技テスト、授業評価アンケート等から以下の特徴が見られた。

- ・ 授業アンケートの結果から、教科に対して興味・関心があると肯定的な回答をした生徒が85%であった。全体的に体を動かすことに前向きに取り組むことができている。
- ・ 集合、整列を素早く行うためにリーダーが声掛けを行うことができる。
- ・ 集合時間を守り、ラジオ体操や集団行動に真剣に取り組むことができる。
- ・ 授業では動きのポイントを意識して取り組む姿が見受けられる。
- ・ 体格差があり、体力の個人差も大きい。

イ 学力や体力の状況

上記を踏まえ、2年生の学力や体力について、以下のような傾向が見られた。

- ・ 授業に積極的かつ前向きに取り組んでいるが、全体的な体力・運動能力はやや低い傾向にある。
- ・ 学校外で運動をする生徒や運動部活動に熱心に取り組む生徒と普段あまり運動をしない生徒で体力差がある。
- ・ 新体力テストの結果から、特に投能力と持久力に課題がある。

② 本校の課題

ア 学習面（生徒の課題）

- ・ 生徒各自が主体的に集合・整列することが課題である。
- ・ 話をよく聞き、ねらいを理解して、授業に取り組むことが課題である。
- ・ 手本となる動きを注意深く観察して、同じように運動を行うことが課題である。

イ 指導面（教師の課題）

- ・ 学習のねらいが理解できるような発問や板書が課題である。
- ・ 運動時に的確なアドバイスをすることが課題である。
- ・ 運動の良い手本と悪い手本を見せて説明することが課題である。

③ 授業改善案

ア 言語活動の取組

- ・ 発問や質問の時間を取り入れる。
- ・ 学習カードに、振り返りや課題・改善策を記入させる。
- ・ ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、互いにコミュニケーションを取りながら活動できるようにしていく。

イ 特別支援教育の視点を取り入れた授業への取組

- ・ 授業開始時に内容やねらいを説明し、授業の見通しを示す。今後にも必要に応じてホワイトボード等にポイントを分かりやすく記載する。

ウ 家庭学習の定着

- ・ 毎日、ストレッチや筋力トレーニングを行う。

エ その他（ICT機器の活用等を含む）

- ・ 保健や体育理論の学習でGooglemeetを使用し、板書がどこからでも見やすいようにする。
- ・ 技能の動きの手本を映像で見せて、イメージしやすくする。
- ・ お互いの動きを撮影し自分自身の動きを見て、課題や改善策を見付けられるようにする。

(3) 第3学年

① 分析と生徒の状況

ア 分析

3年生の学習状況について、定期考査や実技テスト、授業評価アンケート等から以下の特徴が見られた。

- ・ 授業アンケートの結果から、教科に対して興味・関心があると肯定的な回答をした生徒が89%であった。全体的に体を動かすことに前向きに取り組むことができている。
- ・ 集合、整列を素早く行うためにリーダーが声掛けを行うことができる。
- ・ ラジオ体操や筋力トレーニングなどに真剣に取り組んでいる。
- ・ 授業では動きのポイントを意識して取り組む姿が見受けられる。
- ・ 体格差があり、体力の個人差も大きい。

イ 学力や体力の状況

上記を踏まえ、3年生の学力や体力について、以下のような傾向が見られた。

- ・ 授業に積極的に取り組む生徒が多い。苦手でも楽しめる生徒が多い。
- ・ 学校外で運動をする生徒や運動部活動に熱心に取り組む生徒と普段あまり運動をしない生徒で体力差がある。

② 本校の課題

ア 学習面（生徒の課題）

- ・ 生徒各自が主体的に集合・整列することが課題である。
- ・ 話をよく聞き、ねらいを理解して、授業に集中して取り組むことが課題である。
- ・ 手本となる動きを注意深く観察して、同じように運動を行うことが課題である。

イ 指導面（教師の課題）

- ・ 学習のねらいが理解できるような発問や板書が課題である。
- ・ 運動時に的確なアドバイスをすることが課題である。
- ・ 運動の良い手本と悪い手本を見せて説明することが課題である。

③ 授業改善案

ア 言語活動の取組

- ・ 発問や質問の時間を取り入れる。
- ・ 学習カードに、振り返りや課題・改善策を記入させる。
- ・ ペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、互いにコミュニケーションを取りながら活動できるようにしていく。

イ 特別支援教育の視点を取り入れた授業への取組

- ・ 授業開始時に内容やねらいを説明し、授業の見通しを示す。今後にも必要に応じてホワイトボード等にポイントを分かりやすく記載する。

ウ 家庭学習の定着

- ・ 毎日、ストレッチや筋力トレーニングを行う。

エ その他（ICT機器の活用等を含む）

- ・ 保健や体育理論の学習でGooglemeetを使用し、板書がどこからでも見やすいようにする。
- ・ 技能の動きの手本を映像で見せて、イメージしやすくする。
- ・ お互いの動きを撮影し自分自身の動きを見て、課題や改善策を見付けられるようにする。